

北海道の死亡野鳥から、 高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出！！

北海道美唄市で死亡したハシブトガラスから、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

今シーズンで国内初となる野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。

再度、飼養衛生管理基準を点検し、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底して下さい。また毎日の健康観察で異状を認めた場合は、直ちに通報して下さい。

<経緯>

10月4日

- ・北海道美唄市でハシブトガラス（死亡個体）1羽を回収。
- ・同日、簡易検査でA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応を確認。

10月11日

- ・遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）と確定。

<対応>

- ・野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを10月11日付けで対応レベル2に引き上げ、監視強化。



【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



農場に入る車両の徹底した消毒



小型の野生動物の侵入防止



野生動物対策

家きん舎

家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

☎：0773-25-1860

*休日・夜間は転送されます